

主にある夫と妻に

2024年1月14日

エペソ 5・21～33

ペテロⅠ 3・1～7

序：教会の聖徒：互いに従い合いなさい（横の関係） 神との関係（縦の関係）

夫と妻

親と子 弱い立場が先に

主人と奴隸

I. 妻たちよ

(1) 自分の夫に従いなさい

全ての男性に従うのではない 優劣ではない

(2) 主に従うように

信仰者として主に従っているという前提

キリストは教会のかしら

夫は妻のかしら

〃 救い主

〃 保護者

教会はキリストのからだ

夫婦は一心同体

自発的に（× 義務的、強制的）

責任（権利には責任が伴う）

(3) キリストに従うように

忠誠（キリストの御名に殉じる）

心からの従順 ↔ 奴隸的屈従

キリストの恵みに応答する従順 ⇒ 夫の愛と保護と助力に応えて

自分自身のためにも夫に従う

教会が救いの恵みに感謝して主に従順をもって応答するように

妻は夫の愛と保護に、敬意と自発的従順により応える

Ⅲ. 夫たちよ

(1) 自分の妻を愛しなさい

すべての女性ではない

(2) キリストが教会を愛されたように

〃 のためにいのちをささげられたように

この愛はアガペの愛（神が人を愛する愛）

相手の最善を願い、それを実現させる献身により示される

救いに入れて子とされるだけでなく

きよめてご自身にふさわしい聖なるものとする

- (3)キリストがご自身をささげられたように
 キリストみずから（他人にまかせない、心身ささげて）
 罪と汚れからきよめる（贖い）
 清く、傷のないものとする
 栄光の教会＝輝く花嫁へと完成（外見も内なる魂も清く美しい）
 手を延べて、ご自分の前に立たせる

妻を得るだけでなく、妻をきよめる

Ⅲ. 自分と同じように

愛他主義でない cf. あなたの隣人を自分を愛するように愛せよ
 理想主義でなく現実的
 誰にでもある自己愛に訴える
 夫の妻への愛は自己愛のきよめられた一面
 ” 自分をも養い育てる
 自分を愛すること = 妻を愛すること
 キリストは私たちをご自分のからだとして愛された

Ⅳ. キリストと教会

かしら	からだ（聖徒はその部分）
創造者	被造者
花婿	花嫁
愛	従順

結婚 創 2・24
 神が人間の創造とともに定められた
 あらゆる人間関係の中で最重要

我々（教会）はキリストの骨と肉から出た
 キリストは再臨の時に父母（神の右の座）を離れ、妻（教会）と結ばれ、
 キリストと教会は一心同体となる
 夫婦愛とキリストと教会の愛

Ⅴ. 結び

- (1)信仰者の夫は誰ひとりの例外なく、自分の妻を愛しなさい
- (2)信仰者の妻もみなひとり残らず、自分の夫を敬い、従いなさい
- (3)自分に対する愛、自分のためにもそうしなさい
- (4)一方通行ではなく、相互に
- (5)愛も従順も自然発生はしない 具体的に意識、理解、行動を
- (6)結婚すること自体がゴールではない どのようなクリスチャンホームを営むかが大切
- (7)片方だけが信者の場合の勧め ペテロⅠ 3・1～7